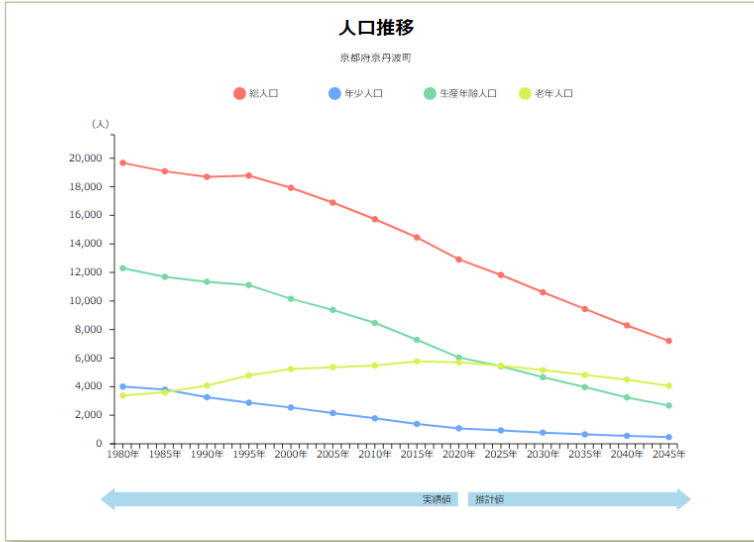


## 人口



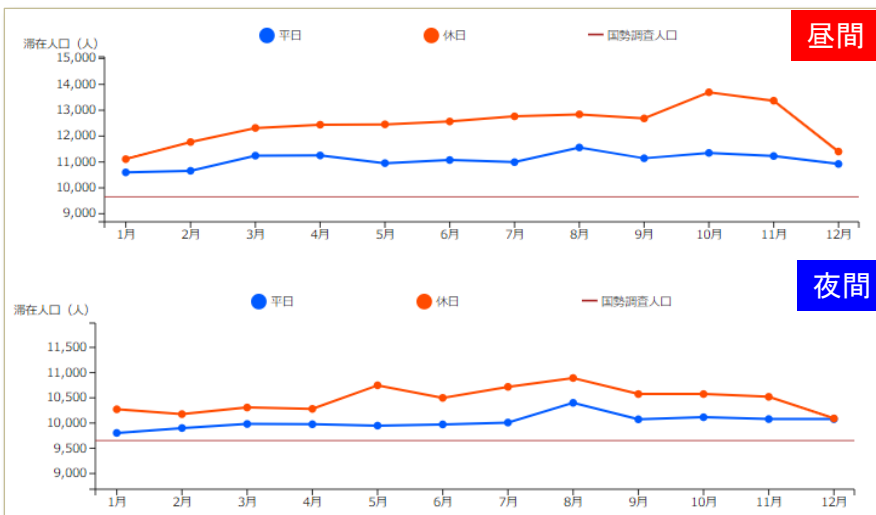
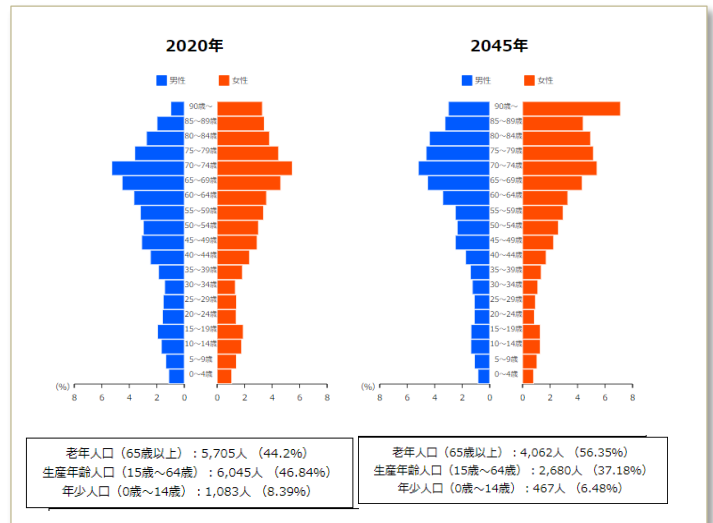
### 年齢別人口推移

2020年の人口は 12,907人。25年前の 18,875人から減少している。将来人口をみると、今後も減少が続く見込みである。年齢別に今後の傾向をみると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、老年人口は2015年まで増加後、横ばいに転じることが予想されている。

※ 年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳  
老年人口は65歳以上をさす

### 人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口の割合をみると、2020年の44.2%から2045年には56.35%まで上昇する。一方、生産年齢人口は2020年の46.84%から2045年には37.18%まで低下する見込みである。



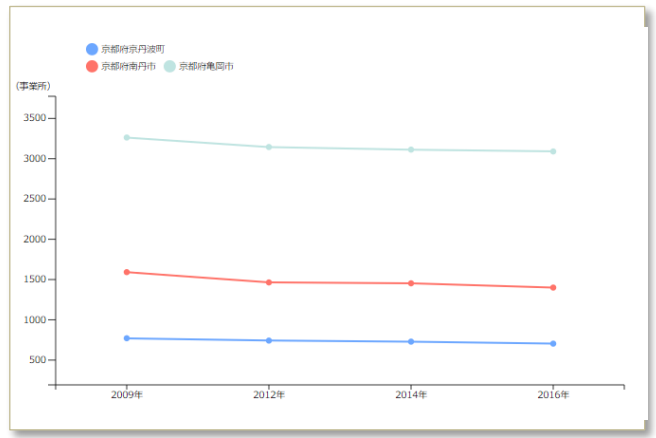
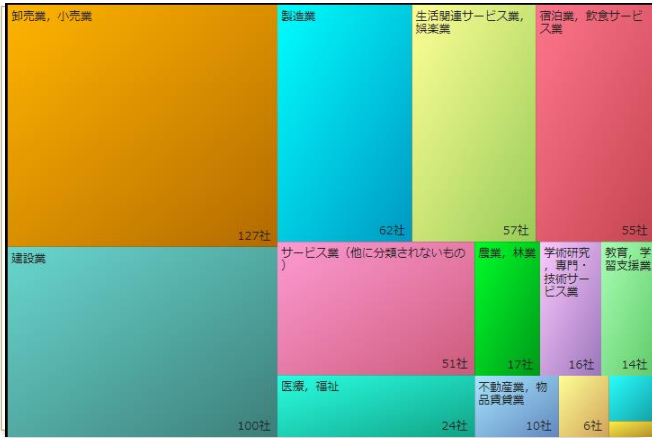
### 滞在人口 (2021年)

携帯電話の位置情報を元に、町内に滞在している人の数を月毎に示したグラフである。休日昼間の滞在人口が平日よりも多い。特に10月11月の行楽シーズンに町内に訪れる人が多いことが読み取れる。

※ 昼間は14時、夜間は20時のデータである

# 産業構造

対象地域：京丹波町  
比較地域：南丹市、亀岡市

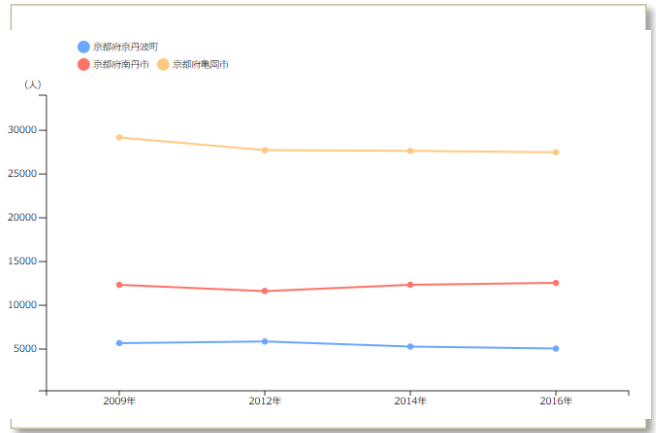
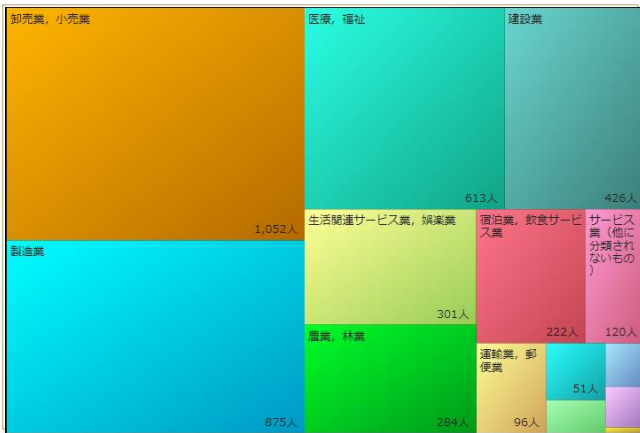


## 事業所数（大分類）（2016年）

業種ごとの事業所数を面の大きさで示したグラフである。最も多いのは「卸売業・小売業」で127事業所である。

## 事業所数の推移

2016年の事業所数は704事業所である。7年前の2009年と比較して8.69%減少している。参考：南丹市12.06%減少、亀岡市5.3%減少

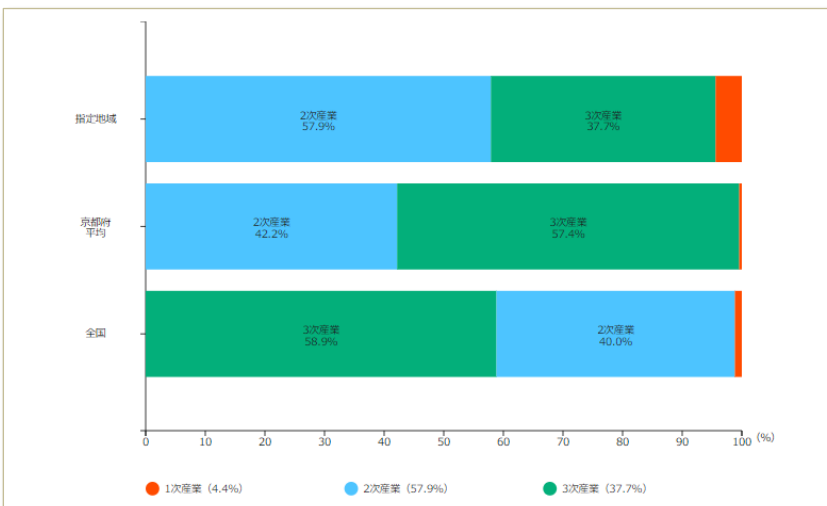


## 従業者数（事業所単位）（2016年）

業種ごとの従業者数を面の大きさで示したグラフである。最も多いのは「卸売業・小売業」で1,052人である。

## 従業者数の推移

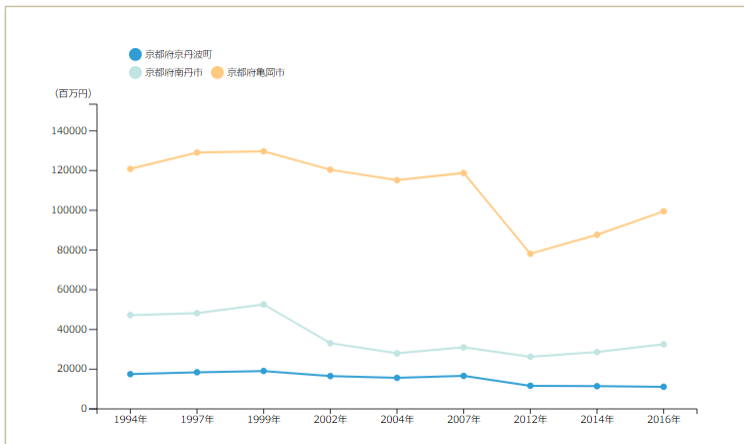
2016年の従業者数は5,053人である。7年前の2009年と比較して11.1%減少している。亀岡市、南丹市と比較して減少率が高い傾向を示している。



## 地域内産業の構成割合（生産額・総額）（2018年）

産業の構成割合を府および全国と比較したグラフである。府との比較で、1次、2次産業の割合が大きい。全国との比較では、第3次産業の割合がかなり低くなっている。

# 小売業・卸売業

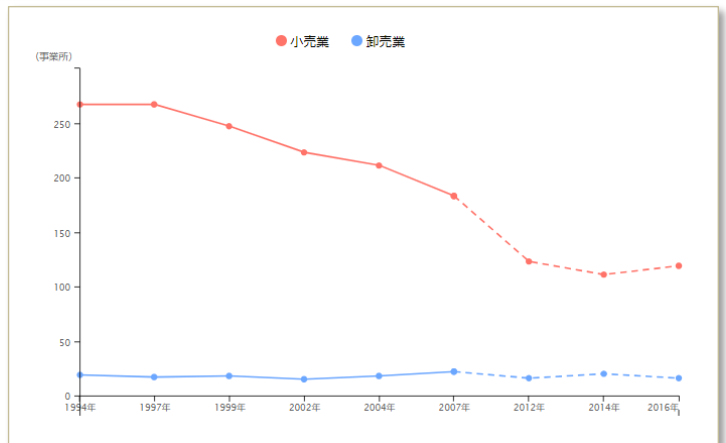


## 年間商品販売額の推移

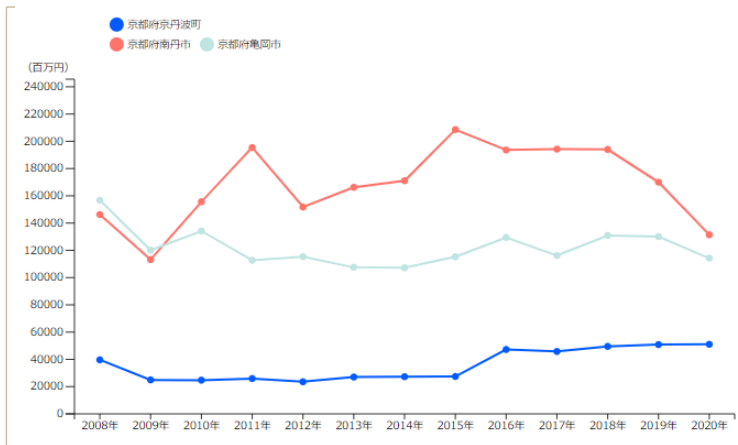
小売業・卸売業の商品販売額の推移を示したグラフである。  
京丹波町の販売額は11,147百万円。2012年と比べると4.4%減である。  
同じ期間で他地域をみると、亀岡市は27.3%増、南丹市は23.7%増となっている。

## 事業所数（小売業・卸売業）の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。  
2016年の事業所数は、小売業119事業所、卸売業16事業所。2012年と比べると小売業は3.25%減、卸売業は27.2%減となっている。



# 製造業

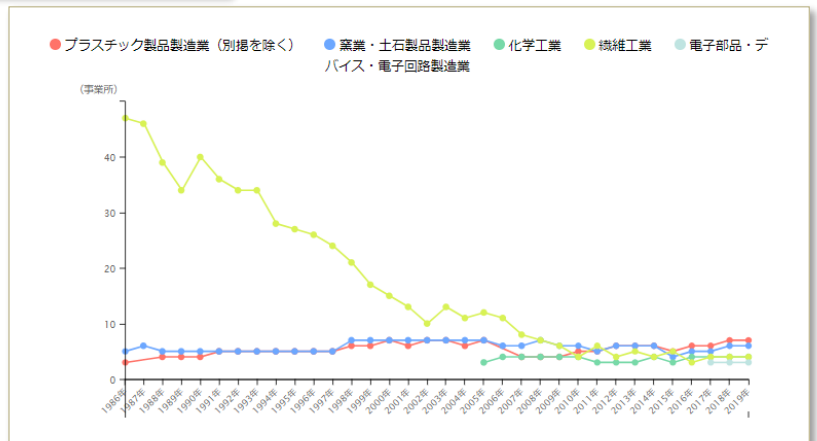


## 製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。  
京丹波町の出荷額は51,034百万円。2015年と比べると85.9%増である。  
同じ期間で他地域をみると、亀岡市は0.8%減、南丹市は37.0%減となっている。

## 事業所数（主要製造業）の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。  
京丹波町の製造業の事業所数は30年間で、大きく減少している。



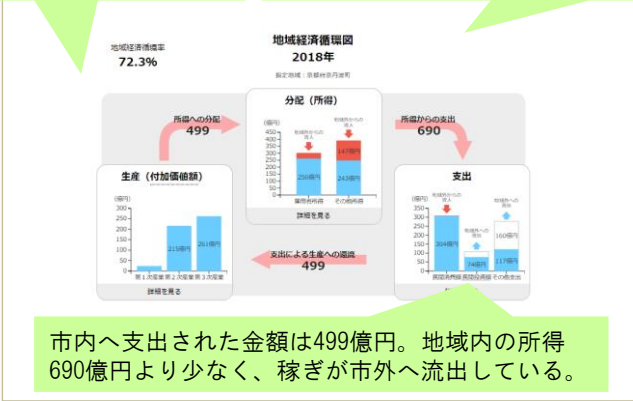
# 地域経済循環

## 地域経済循環図 (2018年)

地域内の活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて再び地域内に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。

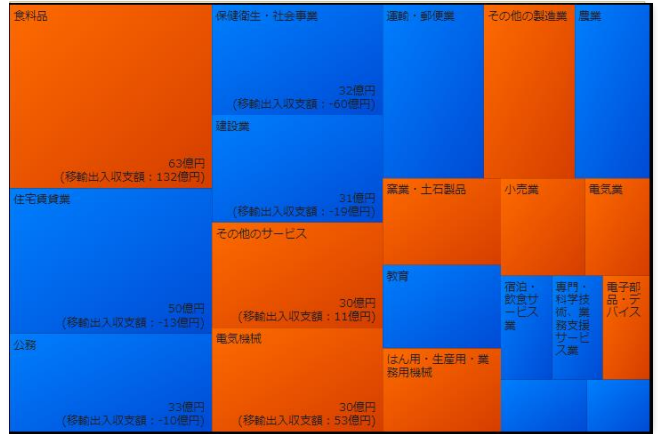
京丹波町は499億円の付加価値を生み出している。

付加価値は市外との流入により差引690億円が市内に分配されて支出に回っている。

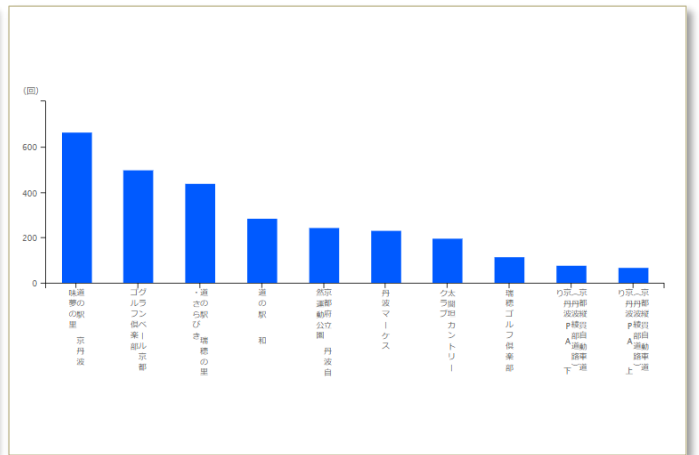
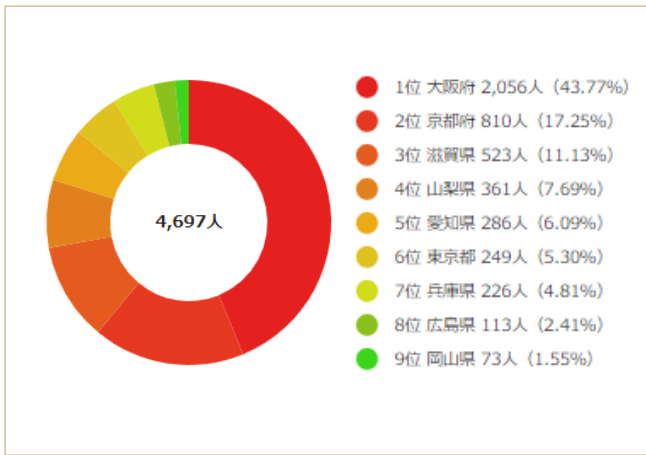


## 生産分析 (2018年)

左図の生産 (付加価値) の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値が高いのは「食料品」「住宅賃貸業」である。グラフの色は、赤色は地域外から稼いでいる産業 (移輸出超過)、青色は地域外から調達している産業 (移輸入超過) を表している。



# 観光



## From-to分析 (宿泊者) (2021年)

居住都道府県別の延べ宿泊者数 (日本人) の構成割合を示したグラフである。大阪府が43.7%と最も多く、京都府が17.2%と続く。

## 目的地検索ランキング (2021年・休日・自動車)

インターネットで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「道の駅京丹波味夢の里」「道の駅瑞穂の里さらびき」の検索回数が多く、来訪者の関心が高いことがわかる。

**この経済分析は「RESAS」を活用しています**

RESAS (地域経済分析システム) は、地域経済に関する様々なデータをグラフでわかりやすく「見える化 (可視化)」するシステムです。地域の実情をビジュアルに把握・分析できます。誰でも無料で使えます。

作成：京丹波町商工会  
 〒622-0214 京丹波町蒲生野口45番地1  
 TEL : 0771-82-0575 FAX : 0771-82-2387  
 URL : <https://kyotamba.kyoto-fsci.or.jp/>